

平成 29 年度（第 28 回）日本大学薬学部学術講演会プログラム

日 時 平成 29 年 11 月 4 日（土） 午前 8 時 55 分から

場 所 日本大学薬学部 8 号館 2 階 821A・821B 講義室

821A 会場

8:55～ 開 会 挨拶 研究担当 榛葉繁紀
9:00～ 講 演

区分	開始時刻	講演番号	講演者氏名	題 目	座 長	
共同研究	9:00	01	石 毛 久美子	GR103691 及び関連化合物の新規脳梗塞治療薬としての可能性の検討	張 替 直 輝	
生物学系	9:12	02	和 田 平	コレステロール胆石形成における体内時計システムの関与		
	9:24	03	榛 葉 繁 紀	肝臓－脳－脂肪組織連関を介した時計遺伝子による血糖制御		
海外報告	9:36	04	大 場 延 浩	UCSFにおけるドライラボに関係する科目の教育の現状について	大 場 延 浩	
	9:48	05	小 山 由 美	米国薬学教育Pharm.Dプログラムとその評価認定制度について		
教養系	10:00	06	エリック・M・スカイヤー	Year Two of the NUSP Study Abroad Program at the University of Portsmouth	大 場 延 浩	
医療薬学系	10:12	07	鈴 木 豊 史	ケトプロフェン含有テープ剤の製剤特性 －先発医薬品と後発医薬品間の使用感に影響する要因の探索－		
	10:24	08	金 沢 貴 憲	マウス食道逆挿管鼻腔内投与法を用いた水溶性高分子のNose-to-Brain脳内分布評価		
10:36 ～ 11:00		コ ー ヒ ー ブ レ イ ク				
生物学系	11:00	09	下 田 康 代	細胞内グルタチオンが関与する含硫ジメチルヒ素化合物の毒性発現機構について	浅 見 覚	
海外報告	11:12	10	荒 川 基 記	日英の薬剤師教育プログラムの違いに関する研究		
実務系	11:24	11	大河内 祐 貴	病薬連携の現状と疑義照会への影響について		
	11:36	12	小 山 芳 明	薬局における管理栄養士 ～2年間の栄養指導の効果検証～		

11:50～ 開 会 挨拶 学術講演会実行委員長 山中 健 三

821B 会場

8:55～ 開 会 挨拶 学術講演会実行委員長 山 中 健 三
9:00～ 講 演

区分	開始時刻	講演番号	講演者氏名	題 目	座 長
海外報告	9:00	01	小 菅 康 弘	神経変性疾患の病態分子機構の解明と治療法の開発 －平成28年度海外派遣出張報告－	加 藤 孝 一
生物学系	9:12	02	村 山 琮 明	肺炎球菌は如何にして病原性を獲得してきたか －ワクチンとの攻防	
	9:24	03	野 内 雄 太	真菌由来のALS治療薬シーズの探索と実験的治療に関する研究	
	9:36	04	田 中 融	タウmRNAの樹状突起分布とAMPA/NMDA受容体を介した翻訳・リン酸化の活性化	
医療薬学系	9:48	05	栗 田 雅 弘	神経芽腫に対するカルコン配糖体の抗腫瘍効果の検討	荒 川 基 記
実務系	10:00	06	河 村 俊 介	薬剤誤服用時の服用再開時点の検討にExcelによる薬物血中濃度シミュレーションを用いた一例	
	10:12	07	齋 藤 桂	施設在宅に於ける調剤薬局薬剤師の役割と、看護師サポートの必要性	
	10:24	08	武 藤 俊 憲	緑内障治療中の患者へ薬局薬剤師ができること	
10:36～11:00		コ ー ヒ ー ブ レ イ ク			
萌芽探究型研究	11:00	09	在 間 一 将	生体試料中抗アレルギー剤の分析法の開発	三 浦 基 文
	11:12	10	矢 作 忠 弘	骨代謝に影響を与える天然薬物の探索と標的分子解明	
化学系	11:24	11	長 嶋 恭 介	アミロイド線維の迅速な分離分析法の確立	

11:50～ 821A会場に移動して閉会